

兵庫県保険医協会

但馬支部ニュース

No. 171

2024年12月15日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部

連絡先 〒669-5346 豊岡市日高町伊府660

谷垣医院 TEL/0796-44-0010 FAX/0796-44-0706

「他科を知る会」感想文

認知症患者を地域で支える重要性

豊岡市・すず内科外科クリニック 鈴木 和大



「生活環境や家族・介護者などの関わりを適切に」とした高石先生（右）と筆者

但馬支部は、9月7日に豊岡市内で「他科を知る会・認知症治療で私が精神科開業医としてしていること」を開催。豊岡市・高石医院の高石俊一先生が講演。会員17人（来場2人/ZOOM15人）が参加した。座長を務めた鈴木和大先生の感想を紹介する。

今回高石先生には認知症に関して、疫学、薬物治療、接し方、さらには地域全体で支えるべき疾患であることを実際に経験された具体的な症例もご提示されながら、分かりやすく丁

（2面につづく）

（1面からつづく）

寧にご講義していただきました。

認知症患者との接し方に関しては、判断力が低下していることも考慮しながら、ゆっくりと短く具体的に話をし、返事を急かさないなどのポイントもいただきました。認知症という言葉も使わないなど患者への配慮も必要であることも分かりました。

認知症と思っていたらうつ病であったという症例や、硬膜下血腫であった症例もご提示いただき、かかりつけ医として認知症と思われる患者に対しても認知症と決めつけず、内科的疾患が隠れているのではないかと常に疑うことの大切さも学ばせていただきました。

認知症患者に対して、私自身まず薬物療法を選択すべきと思っておりましたが、高石先生のご講演を拝聴し、まずは生活環境や家族・介護者などの関わり合いを適切にすることが重要であることも分かりましたし、介護が適切でないとBPSD（行動・心理症状）の出現にもつながることも理解しました。

さらに地域包括ケアシステムを実現し、地域で認知症患者を最後まで自分らしい人生を続けられるよう支えることの重要性についても学ぶことができました。

講義後の質問では、かかりつけ医が悩む運転免許更新の可否の判断についても、高石先生のお考えを聞くことができとても参考になりました。

最後になりましたが、このような貴重な勉強の場を設けていただき誠にありがとうございました。今後の診療に役立てたいと思っております。



幹事会だより

第246回 11月28日（木）参加6人

◆但馬支部の会員数と組織率

11/28 現在 医科99人（87%）、歯科38人（51.4%）

◆情勢と医療運動対策

11月幹事会では、神戸新聞の報道「新人医師の臨床研修、県内7病院でゼロに」を受けて情勢議論した。「公立八鹿病院でも研修医がゼロに。深刻だ」などの意見が出された。

◆当面の支部活動

2025年2月15日（土）15:00～17:00（ZOOM併用）

支部総会記念講演「LONG COVID（仮）」

講師 兵庫県立丹波医療センター 地域医療教育センター長 見坂 恒明 先生

◆次回幹事会

12月26日（木）19時00分～「日高地区コミュニティセンター」にて開催予定

お問い合わせはTEL 078-393-1809 吉永まで

第104回評議員会（11/17）但馬支部からの発言

「資格確認書」発行させる取り組み強化を

美方郡・やすこ歯科医院 喜井 恭子

但馬支部では、6月8日に、他科を知る会：「皮膚科専門医に聞く～開業医にここまで診てほしい」（講師：公立豊岡病院皮膚科部長・秋山創先生）を開催しました。新幹事の黒瀬博計先生を座長に17人が参加。また9月7日には他科を知る会「認知症診療で私が精神科開業医としてやっていること」（講師：高石医院・高石俊一先生）を開催し、こちらも新幹事の鈴木和夫先生を座長に17人が参加しました。



話は変わりますが、今回の総選挙で与党が過半数割れした結果は、協会・保団連の「保険証を残せ」運動を通じ、与野党、所属政党・会派をこえて、多くの議員を動かしている条件が整ったと言えるのではないのでしょうか。また、地方でも県下各地でマイナ保険証を持っている、いないに関わらず「資格確認書」を発行させる取り組みを強めていってはどうでしょうか。

健康情報テレホンサービス

【1月のテーマ】

月曜日／子どもの冬の感染症
火曜日／あごのトラブル 顎関節症
水曜日／過敏性肺炎
木曜日／痔の日帰り手術
金土日／シックハウス症候群

※ 祝日は直前の放送日のテーマを放送します。
年末年始（12/27～1/5）は「ヒートショック」が流れます。

携帯電話 (078) 393-1824

固定電話 (0120) 979-451



★ 24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/> 右下の二次元コードから

二次元コードはこちら



★ 患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ（A6サイズ）を作成しています。送付ご希望の医療機関は事務局 ☎ 078-393-1840 まで。

兵庫県保険医協会／協会西宮・芦屋支部

阪神・淡路大震災 30年の集い

阪神淡路大震災－東日本大震災・原発事故－熊本地震－能登半島地震
阪神淡路大震災から30年 そしてこれからの30年を見据えて



メイン講演

『『大地動乱の時代』と『原発震災』』

神戸大学名誉教授 石橋 克彦 先生

いしばし・かつひこ 神戸大学名誉教授。東京大学理学部地球物理学科卒業。原子力安全委員会専門委員、国会東京電力福島原子力発電所事故調査委員会委員などを歴任。専門は地震学、歴史地震学。著書に「阪神・淡路大震災の教訓」「原発震災－警鐘の軌跡」「南海トラフ巨大地震－歴史・科学・社会」など。



「阪神・淡路大震災と
アスベスト」

上田 進久 先生

協会西宮・芦屋支部世話人
NPO 法人ストップ・ザ・アスベ
スト代表



「能登半島地震から1年
そして風水害」

根上 昌子 先生

七尾市 ねがみみらいクリニック院長

2025.1.18 [Sat] 12:30- (12時開場)

西宮市 なるお文化ホール

(阪神「鳴尾・武庫川女子大前」駅から南へ徒歩約10分 ※詳細裏面)

阪神・淡路大震災から30年。前回5年前の集いに引き続き、「阪神・淡路大震災30年の集い」を開催いたします。「震災経験を語り継ぐ・風化させない・新たなつながりを拓げる」ことを目的に、災害経験の中でいのちと暮らしを見つめ、生活する権利や平和を共に考える場としたいと思います。

今回はメイン講師に神戸大学名誉教授の石橋克彦先生をお迎えし、南海トラフ巨大地震を抑えての原発災害の危険性などについてお話いただきます。また、阪神・淡路大震災直後に飛散したアスベスト曝露によるリスク、24年元旦に起きた能登半島地震、さらに能登をおそった風水害による被害など能登半島での状況についても、話題提供いただきます。これまでの被災地訪問などさまざまな取り組みについてのポスターセッションも行います。皆様のご参加をお待ちしております。

Zoom 視聴はこちら



<https://bit.ly/3CyAWfn>

主催 兵庫県保険医協会／協会西宮・芦屋支部

後援 西宮市／西宮市教育委員会／芦屋市／芦屋市教育委員会／神戸新聞社

来場お申し込み・お問い合わせは

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 事務局 伊地知・山田
TEL / 078-393-1840 FAX / 078-393-1820 mail / idichi@doc-net.or.jp